

■ 大手書店と関西大学学長のコラボによるおすすめ図書100選！ ■ 「**新入生に贈る 100 冊**」(2024 年度版)を発表 ～ 今年で7年目を迎える関大独自の読書啓発企画 ～

このたび関西大学では、大手書店「丸善雄松堂」ならびに「紀伊國屋書店」と本学学長による『新入生に贈る 100 冊』を選定しました。2024年4月の新入生約6,700人に案内し、読書の重要性を呼びかけます。

本件のポイント

- ・関大学長・丸善雄松堂・紀伊國屋書店が「おすすめの図書100冊」を選出
- ・「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まり7年目を迎える関大独自の読書啓発企画
- ・約8割は電子書籍として提供。図書（電子書籍を含む）は親から子への贈り物として教育後援会が手配

「新入生に贈る 100 冊」は、「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まった、今年で7年目を迎える本学独自の読書啓発企画です。選書された100冊は本学・前田裕学長の推薦図書20冊に加え、丸善雄松堂ならびに紀伊國屋書店の推薦図書各40冊で構成されており、100冊のうち約8割はいつでもアクセスできる電子書籍として提供。通学電車内や授業の合間などにスマートフォンやタブレットを用いて、気軽に読むことができます。電子書籍の取り扱いがない図書は、各キャンパスの図書館での閲覧・貸出が可能です。なお、同企画の図書（電子書籍を含む）の手配は、父母会である本学教育後援会の協力によるもので、親から子への贈り物という位置づけです。



■ 『新入生に贈る 100 冊』の概要

- 「丸善雄松堂」、「紀伊國屋書店」と前田裕学長がコラボ
- [前田学長] 20冊、[丸善雄松堂] 40冊、[紀伊國屋書店] 40冊を選書
- 「若者の読書離れに歯止めをかけたい」という想いから始まった開始7年目を迎える読書啓発企画
- 100冊のうち約8割は電子書籍として利用可能（2024年4月から1年間の提供）

■ 推薦図書の一例

※推薦図書の全容は「電子版『新入生に贈る 100 冊』(2024 年度版)」にて公開

▼ https://opac.lib.kansai-u.ac.jp/?page_id=65926



『今日の空が一番好き、とまだ言えない僕は』
/福徳 秀介 (小学館)

ジャルジャル福徳秀介待望の小説デビュー作。著者自身の私小説を思わせる恋愛小説ながら、「生きる」ことそのものについて考えさせられる、心に刺さるホロ苦恋愛小説。



『AI 2041: Ten Visions for Our Future (English Edition)』
/Kai-Fu Lee, Chen Qiufan (Crown Currency)

「AI 2041: 人工知能が変える 20 年後の未来」の原著。元 Google China の社長カイフー・リーが SF 小説家のチェン・チウファンとタッグを組み、2041 年の世界が AI によってどのように形成されるかを描く。

以上

※取材をご希望の方は、お手数ですが下記までご連絡をお願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先

関西大学 総合企画室 広報課 担当：明原、玉村、中村

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel. 06-6368-1131 Fax. 06-6368-1266

www.kansai-u.ac.jp